

第20回 榿原市総合政策審議会

日時：令和8年5月28日（木）午前9時30分～

場所：榿原市役所 分庁舎2階 A会議室

出席者

- 委員：久会長、佐伯副会長、大城委員、堀部委員、前川委員、榿谷委員、東(博)委員、山本(邦)委員、中村委員、原委員、東(晋)委員、平岡委員、増田委員
- 事務局：若森企画戦略部長、木南企画戦略部副部長、長谷川企画政策課長、森島企画政策課長補佐、大西係長、伊藤係長、山風呂主査、大東主査

1. 開会

2. 議事

・榿原市第4次総合計画後期基本計画及び「日本国はじまりの地 榿原」未来戦略の完成について

事務局

それではただいまから議事に入ります。ここからは会長に進行をお願いしたいと存じます。久会長よろしくお願いいたします。

久会長

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

まず、1つ目の議事に入ります。「榿原市第4次総合計画後期基本計画」及び「日本国はじまりの地 榿原」未来戦略の完成について事務局から、ご説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。私たちも一緒に作らせていただきました後期基本計画、それから未来戦略が完成しましたというご報告と、それを使って今後どのように進めていくかというところのご説明でございました。

ただいまのご説明について、ご質問やご意見はありますか。では、前川委員をお願いします。

前川委員

前回は質問させていただいて、回答もいただいていたのですが、資料2の7ページに関して、18歳以上の市民からの無作為抽出による対象5000人の回答とのことですが、人口比に対応した無作為のアンケートを得たということで、よかったのでしょうか。

久会長

確認です。事務局をお願いします。

事務局

ご質問ありがとうございます。前川委員おっしゃる通り、人口比に基づいて、5000人、10歳毎に男女別を選定しまして、アンケートを行った結果となっております。

前川委員

ありがとうございます。それを無作為とくくってしまうのではなく、人口比に応じた無作為というような説明が入ったほうが、なお一層はっきりしたものとして捉えられるのではという点と、今後もその方法でいいのかという点、若者の意見が人口比だと、かなり低い値で取らなければならない部分もあるので、今回は人口比でアンケートを取ることで納得しておりましたが、そこを今後議論していく必要があるのではないかという思いがあります。

久会長

ありがとうございます。抽出方法について、きちんと、明記をしてくださいということかと思います。

事務局

前川委員のご質問にお答えさせていただきます。7ページにつきましては、書きぶりを変更し、わかりやすい表現にさせていただきたいと考えております。またアンケートの方法に関しては、以前の審議会におきまして、同じ方法で進めたほうが数値に信憑性が測られるということでお伺いしたと思います。そこで昨年、そのアンケートの取り方につきまして、審議会でご協議いただきまして、今回の方法で進めた次第です。市といたしましては、委員おっしゃることももっともですが、できるだけ同じ方法で7年間進めていただき、今後若者の意見を踏まえたアンケート等を別途取らせてもらうことも一つの方法であると考えております。

久会長

ありがとうございます。前川委員からは、この方法が無作為抽出ですか、というご質問ですけれども、学術的に言えば、それぞれの層に合わせて対象を抜いてくるということで、層化抽出法といえます。ただ研究者はわかるのですが、市民の方々にはほとんど馴染みのない言葉になるので、書きぶりの工夫もお願いできればと思います。

また、後ほど評価のお話に入りますが、いわゆる当事者の意識と、当事者でない方の意識が、市民全体になると混じってしまいますので、当事者の切実な思いというのをどう反映するのかというところが課題になってきますが、それぞれの担当課が別途、アンケートを取っている可能性もあります。そこはかなり当事者に寄ったアンケートを取ってくださっているもので、その場合は、その結果を含めて評価シートにお示しいただくことによって、全体の傾向と当事者だけを抽出したときの傾向の違いを、我々にも伝えてもらえると思います。そこは、事務局の方から、担当課へ、自らやっているアンケートがあれば、そういう結果もシートの中に記載していただくと、我々も一緒に評価しやすくなるということで、お伝えいただければと思います。

では、今いただいたご意見も、踏まえながら、来年度の評価に反映ができればというふうに思っております。

・檀原市第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて

久会長

では続いて、「檀原市第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて」ということですが、今、説明いただいたのは、後期基本計画です。昨年度は前期基本計画を使って動きましたので、今まで使ってきた前期の基本計画の施設評価をさせていただくということになります。ですので、後期基本

計画をご覧いただくのではなくて、前期基本計画の内容をご覧いただきながら、我々も評価をするということになります。また、施策評価シートの説明を今からやっていただきますけれども、それを使ってどう評価するのかというのは、2つあと議事の「評価部会での評価について」ということで、ご説明をさせていただきますので、まずは、その評価シートの構成がどうなっているのかというところを中心に、これから説明をいただけたらと思います。では事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。先ほども申し上げましたように、これを使ってどう評価していくかという視点は、後の議事でこのシートを使いながら解説めいたお話をさせていただきますので、その時により具体的にご質問ご意見賜ればと思います。

・第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて

久会長

では続いて「第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて」シートの構成を中心に事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。こちらの方は、部会ではなく、皆さんに個別にやっていただくことになっております。6月になりましたら、この資料の4-2のような効果検証報告書案の冊子が送られてまいりますので、それをご覧いただきながら、資料の4-3の効果検証シートを個別に記入いただきます。そして全体調整をせずに、評価はAが何人、Bが何人、Cが何人という形でそのまま公表し、コメントもすり合わせをせずに、各委員からいただいたものを列挙することになります。

ただし、全体を見たときに、自分の評価がちょっと厳しすぎるとか、逆に甘すぎるということが出てまいります。次回の全体会のときに、集計表を見て、CからBに変えますとか、そういう調整は可能になっておりますので、まずは、個別に評価をいただくということにさせていただきたい、と思っております。

今日ご説明いただいて、早速評価に入っていただくということになります。おそらく今日は、説明をいただいても、実際やってみないとわからないというところもございますので、またわからないことがございましたら、個別に事務局なり、担当課にご説明いただくという機会がありますので、今日お気づきになっている点で、何かご質問とか、ご意見はいかがでしょうか。

佐伯副会長

効果検証報告書案ですが、前半に人口動態の説明があるのですが、例えば報告書9ページ、県内の市町村別のデータが紹介されているのですが、樫原市が入っていないように見えるのですが、間違いですか。

事務局

佐伯副会長の質問について、ご説明いたします。9 ページは橿原市を起点にした転出入を示したものに なります。奈良市から橿原市に帰ってきたり、逆の橿原市から奈良市に出て行ったりした橿原市の社会増減になりますので、橿原市が入っていない形となります。

佐伯副会長

そうすると、転入する人数と転出していく人数で、例えば転出していく人数が多かったら、人口が減少に寄与したというような話ですよね。その幅を市町村別に比較するのはどこを見たらいいのでしょうか。

事務局

佐伯副会長のおっしゃっておられる橿原市と他市の比較ですが、7 ページに橿原市の社会増減、転入者数、転出者数の推移等を記載させていただいています。9 ページにつきましては橿原市から転出になった社会増減の数を書いていまして、8 ページにつきましては橿原市の比較というのを一覧表にしていないので、7 ページと8 ページを見比べてもらう形になります。少しわかりにくいと思いますので、こちらの書きぶりにつきましても、わかりやすい表現にできるように作成したいと思います。

佐伯副会長

わかりました。7 ページの数字を見て、8 ページの他府県との比較をしないといけない、ということですね。一緒に書いてもらったほうがわかりやすいと思いますのでお願いします。

久会長

9 ページはタイトルも少しわかりづらく、転出先、転入先別のということだと思いますので、分かりやすいタイトルも今回はお願いしたいと思います。

・評価部会での評価について

久会長

では、つづきまして「評価部会での評価について」になりますが、こちらは私から、施策評価シートの見方を追加で説明させていただきます。

(説明)

久会長

説明についてご意見・ご質問はありますか。

・今後のスケジュール及び評価部会の構成案について

久会長

それでは最後に「今後のスケジュール及び評価部会の構成案について」事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。説明についてご意見・ご質問はありますでしょうか。

中村委員

評価部会の構成人員ですが、専門分野を持っておられる方がその分野にいない、それと違うところに入っています。日程調整の結果というふうな説明でしたが、本来であればそれは逆であって、専門分野がある方がいなければ、その専門的な見地で話ができないと思うので、どちらかという構成員を決めて、日付を決めていくような方法をとるべきではないかなと思うので、その点についてお聞かせください。

事務局

中村委員ご指摘の通り、委員の方々の分野を中心に調整させていただきましたが、委員の方々の日程、それから各分野の日程が合わず、こういった構成にさせていただきました。ただ、それぞれの委員の方々の分野に関係のある施策の部会の方に、構成員として入っていただくようなことは考えさせていただいたところでございます。

久会長

なかなかこれだけの皆様の日程、揃えるというのが難しいというのは、重々承知はしておりますが、微調整ができる範囲で調整いただければというように思っております。他いかがでしょうか。

東(暢)委員

評価部会の日程時間が合わないところがございますので、事務局に相談させていただきます。

久会長

東委員は部会長でございますので、来ていただかないと評価部会の運営ができませんから、修正をお願いできたらなと思っております。

それでは、本日の議事は終了しましたが、審議会全体を通してのご意見やご質問はありますか。無いようですので、終了します。進行を事務局にお返しします。

事務局

次回の総合政策審議会は6月30日(火)午後・7月3日(金)午後・7月9日(木)午前・7月14日(火)午後に評価部会を、8月3日(月)午後1時30分に全体会を開催する予定です。場所は、こちらミグランス2階会議室Aもしくは大和信用金庫3階を予定しております。詳細は本日お配りした資料5-1をご覧ください。

委員の皆様のご出席、ご審議をよろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の総合政策審議会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。

(以上)